

1979. 1. 8

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 181

福岡市東区箱崎6丁目10番1号
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL092-641-1101)
内線 2256

目 次

◇ 業務時間の一時延長について	1
◇ アプリケーション・プログラムについて	2
◇ T-GSPの利用について	4

◇ 業務時間の一時延長について

1月8日から2月28日までの間業務時間を下記のとおり変更します。

記

業 務 項 目	利 用 時 間
オープン入出力	
TSS	(月,火,木,金) 9:00~21:00
オープン磁気テープ	(水) 9:00~19:00
グラフィックディスプレイ	(土) 9:00~12:00
紙テープ	
オープンパンチ	
滞在者控室	
電話問合わせ	

備考 1. 上記以外の項目については従来とおりです。

2. 17時以降に障害が発生した場合その程度によっては、その時点で計算機の
運転を停止することがありますのでお含みください。

◇ アプリケーション・プログラムについて

現在，本センターで利用できるアプリケーション・プログラムは，以下のとおりです。

なお，マニュアルに掲載されている標準カタログドプロシジャは，すべて用意してありますので，マニュアルに従ってご使用ください。

1) シミュレーション

アプリケーション名	内 容	マニュアル
ADSL/X	連続系シミュレーション言語	ADSL/X解説書(99AR-0100-2) ADSL/X使用手引書(64AR-0100-1)
DYNAMO	動的モデルのためのシミュレーション言語	DYNAMO解説書(99AR-0300-1) DYNAMO使用手引書(64AR-0120-1)
GPSS/X	離散型シミュレーション言語	GPSS/X解説書(99AR-0130-2) GPSS/X使用手引書(64AR-0110-1)
SOLF	離散型シミュレーションライブラリ	SOLF解説書(70AR-0200-1)

2) 統計・予測

CLUSTER	クラスター分析	CLUSTER解説書(70AR-0770-1) CLUSTER使用手引書(64AR-0770-1)
IRA	産業連関分析プログラム	IRA解説書(64AR-0790-1)
KEMPF/X	計量経済モデル分析システム	KEMPF/X解説書(70AR-0700-1) KEMPF/X使用手引書(64AR-0700-1)
MULVA/X	多変量解析システム	MULVA/X解説書(70AR-0740-1) MULVA/X使用手引書(64AR-0740-1)
QUANTAS	数量化理論プログラム	QUANTAS解説書(70AR-0750-1) QUANTAS使用手引書(64AR-0750-1)
SDA	調査データ解析システム	SDA解説書(99AR-0240-1) SDA使用手引書(64AR-0780-1)
TAFT	多変量時系列分析システム	TAFT解説書(70AR-0760-1) TAFT使用手引書(64AR-0760-1)
TIMS	時系列分析による総合予測システム	TIMS解説書(70AR-0710-1) TIMS使用手引書(64AR-0710-1)

3) 数理計画

MPS/X	数理計画法システム	MPS/X解説書(70AR-0500-3) MPS/X使用手引書(64AR-0500-2)
TLP	輸送型線型計画法システム	TLP解説書(70AR-0600-1)

4) 構造解析

FEM	有限要素法による汎用構造解析プログラム	FEM解説書(64AR-5300-1)
-----	---------------------	---------------------

5) 電子回路解析

FNAP	汎用電子回路解析プログラム	FNAP解説書(64AR-7600-1)
------	---------------	----------------------

6) プロジェクト管理

PERT/MANPOWER	ネットワーク計画システム	PERT/MANPOWER解説書(70AR-0310-2)
---------------	--------------	-------------------------------

7) 数値制御

APT IV	数値制御言語	APT IV解説書(I)(70AR-5501-1) APT IV解説書(II)(70AR-5502-1) APT IV解説書(III)(70AR-5503-1) APT IV使用手引書(64AR-5500-1)
--------	--------	--

◇ T-GSPの利用について

グラフィック端末で図形処理を行うT-GSPが、1月5日から利用できるようになりましたので、お知らせします。

T-GSPとは、図形処理ソフトウェアFACOM OS IV/F4 GSPの機能をグラフィック端末にサポートするものです。

文法は、FACOM OS IV/F4 GSP 文法書(普及型用、マニュアルコード64SP-6020-2)に準じています。

使用方法

ソニーエレクトロニクスの端末(4006)(センター2階、出力検策ステーション横に3台)で実行します。TSSで、通常のFortranプログラムを実行するのと同じ要領です。

ただし、ライブラリとして、SYS1・TGSPEXL, SYS1・TGSPLIBを指定しなければなりません。

使用例

SOURCE・FORTにプログラムを標準形式で入れている時

- RUNコマンドを用いて

```
LIB ( 'SYS1・TGSPEXL ' )  
RUN SOURCE FORT FIXED LIB( 'SYS1・TGSPLIB ' ) RETURN
```

- FORT, LINK, CALLコマンドを用いて

```
LIB ( 'SYS1・TGSPEXL ' )  
FORT SOURCE NOGO FIXED  
LINK SOURCE・OBJ LIB( 'SYS1・TGSPLIB ' ) FORTLIB RETURN  
CALL SOURCE・LOAD RETURN
```

- EDITのRUNサブコマンドを用いて

```
LIB ( 'SYS1・TGSPEXL ' )  
EDIT SOURCE FORT(FIXED) RETURN  
RUN LIB ( 'SYS1・TGSPLIB ' ) RETURN
```